

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51111	舗装補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	2
51111	横断歩道橋補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	4
51111	橋梁補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	5
51111	その他道路施設補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	7
51111	道路清掃事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	9
51111	直営工事維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	10
51111	道路照明灯維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	11
51111	市道の維持管理一般経費	都市整備部	道路河川管理課	シートA	12
51111	松山マイロードふれあい制度	都市整備部	道路河川管理課	シートB	13
51111	街路樹管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	15
51111	私道整備事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	16
51111	交通安全施設(二種)整備	都市整備部	道路河川管理課	シートA	17
51111	交差点等安全対策事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	18
51111	道路橋梁災害復旧事業(単独)	都市整備部	道路河川管理課	シートA	19
21131	法河川維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	20
21132	浸水予防活動事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	21
21132	汚泥最終処分事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	22
21132	スクリーン等管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	23
21132	河川水路維持補修事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	24
21132	ポンプ場運転管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	25
21132	河川水門管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	26
21132	下水道台帳整備事業(下水排水路)	都市整備部	道路河川管理課	シートA	27
21132	下水排水路等整備事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	28
29999	河川等災害復旧事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	29

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	舗装補修工事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理					
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化			
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		道路法第10条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)、松山市道路施設維持管理計画、社会資本総合整備計画、公共施設等適正管理推進事業計画(公産備)				

事業の目的(どのような状態にするか)	市道の路面を適切に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	舗装の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、適切に市道を維持管理する必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市道を対象に、日常のパトロール、路面定期点検、通報などに基づき、舗装補修工事を実施するために工事請負費等を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由	市道等の維持管理であるため。	
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	道路橋梁費		R2 予算措置時期		当初	9月補正	繰越
				土木費	項	目	道路橋梁維持費			
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)					510,641		411,309		342,023	
決算額(B) (単位:千円)					475,358		339,115			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				31,025		10,000		23,178	
	県支出金				0		0		0	
	市債				31,600		35,400		108,100	
	その他				0		104,305		101,221	
一般財源					412,733		189,410		109,524	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費335,102千円 委託料4,008千円		工事請負費273,000千円(現年予算) 51,057千円(繰越分)		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち51,414千円は前年度繰越分 9月補正で179,845千円追加。 流用による減		「その他道路施設補修工事業」を統合し「道路等補修事業」へ名称変更 予算額のうち55,017千円は前年度繰越分		
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)	35,283		72,194			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市道の舗装補修工事 路面下空洞調査業務委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	道路施設の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道路の老朽化により維持管理費が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					
R3年度の目標	市道を対象に、舗装補修工事等を適切に実施する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市道の舗装補修工事 路面下空洞調査業務委託		引き続き市道の適切な維持管理に努める。 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	道路機能保全対策事業等施工箇所(社総金+公適債)	箇所	目標値		-	-	7	9	1	目標値	23
			実績値		4	6	13			達成年度	R5
			% 達成度		-	-	57				
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		計画に基づいたR5の目標値			
	本指標の設定理由	工事計画に基づいた指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	確実な事業実施により、順調に進捗している。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	横断歩道橋補修工事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	居住環境の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理				市長公約					
取り組みの柱	生活道路等の維持管理									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)									
事業の目的(どのような状態にするか)	本市が所有する横断歩道橋を適切に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	経年劣化等による損傷が顕著になってきたことから計画的に補修工事を進める必要がある。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	本市が所有する13橋の横断歩道橋について、定期点検を行うとともに、年間1~2橋程度ずつ計画的に塗替えなどの補修工事を実施するために工事請負費等を支出。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	一般の用に供される道路施設であるため。						
始期・終期(年度)	平成	14	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	R2予算措置時期	当初	繰越
						R元年度	R2年度			R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						30,000			32,500			13,530
決算額(B)(単位:千円)						0			21,926			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳						国支出金			0	11,169		7,441
						県支出金			0	0	0	
						市債			0	6,900		0
						その他			0	0		0
			一般財源			0		3,857			6,089	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								工事請負費15,338千円		委託料13,530千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち15,000千円は前年度繰越分 流用による増		予算額のうち13,530千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			30,000			10,574			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	横断歩道橋点検業務委託 横断歩道橋塗装補修工事										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			当初計画に沿った事業の実施ができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		横断歩道橋の適切な維持管理に努めた。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	老朽化により維持管理費が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。										
R3年度の目標	来年度に向けて事業内容を精査する。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			関係機関(R・小学校)との協議を済ませる。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		来年度に向けて事業内容を精査する。

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	橋梁補修工事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム		笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト		みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	居住環境の整備				主な取り組み		耐震化対策の推進
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約				
取り組みの柱	生活道路等の維持管理						
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見通しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。	
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化				
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)、松山市道路橋梁長寿命化修繕計画						

事業の目的(どのような状態にするか)	道路橋梁を適切に維持管理し、長寿命化及び維持管理コストの平準化を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	道路橋梁の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、計画的に橋梁を維持管理する必要がある。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	道路橋梁を対象に、工事をを行い機能を回復するとともに、橋梁の長寿命化を図る。併せて、法定点検を実施するため、計画的に点検、調査をするために工事請負費等を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由	市道等の維持管理であるため。		
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		R2 予算措置時期	当初	繰越
						目	道路橋梁維持費			
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)						186,008		317,384		632,542
決算額(B) (単位:千円)						66,492		77,569		
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					27,612		38,796		161,257
	県支出金					0		0		0
	市債					18,300		16,800		405,600
	その他					0		0		0
一般財源						20,580		21,973		65,685
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								委託料44,315千円 工事請負費31,245千円		工事請負費313,000千円(現年予算) 150,462千円(繰越分)
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち84,584千円は前年度繰越分 流用による減		予算額のうち217,580千円は前年度繰越分 予算額のうち17,962千円は事故繰越分
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		119,516		239,815		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	橋梁定期点検 ・橋梁補修工事 ・橋梁耐震化工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	橋梁の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	橋梁の老朽化により維持管理費が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					
R3年度の目標	橋梁の補修工事等を適切に実施する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・橋梁定期点検 ・橋梁補修工事 ・橋梁耐震化工事(道路河川整備課に執行委任する)	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	引き続き橋梁の適切な維持管理に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	長寿命化対策着手重要橋梁数	橋	目標値	15	15	19	21	23	目標値	23	
			実績値	15	15	19			達成年度	R5	
			% 達成度	65%	65%	83%					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	令和5年度までに、重要橋梁全155橋のうち対策橋梁23橋の長寿命化対策に着手する。達成度は、着手数/23。				
	本指標の設定理由	松山市道路橋長寿命化修繕計画に基づいた長寿命化対策について、着手年度の委託数をカウント									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	確実な事業実施により、順調に進捗している。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	その他道路施設補修工事事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備						主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理					市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理								
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見通しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化						
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し				

根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)、松山市道路施設維持管理計画、社会資本総合整備計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	道路を構成する道路排水施設や法面、擁壁などの各施設について適切に維持管理を行い、事故の防止と通行の円滑化を目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	道路施設の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、適切に維持管理する必要がある。また、「松山市自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車の利用が多い路線は、連続的な自転車走行空間の整備を行う。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	道路施設を対象に、日常のパトロール、通報などを踏まえ、対策工事を実施するために工事請負費等を支出。また、「松山市自転車ネットワーク計画」に基づき路面表示の整備等を実施するために工事請負費を支出。								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等		市道等の維持管理であるため。				「無し」の場合、その理由
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		道路橋梁費		道路橋梁維持費		R2 予算措置時期		当初	9月補正	繰越
				目	項	目	項	R2年度	R3年度					
				R元年度		R2年度		R3年度						
現計予算額(A) (単位:千円)				313,954		291,467		0						0
決算額(B) (単位:千円)				270,198		296,218		0						0
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			2,666		3,730		0						0
	県支出金			0		0		0						0
	市債			0		0		0						0
	その他			0		0		0						0
一般財源				267,532		292,488		0						0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費291,382千円 委託料4,836千円								
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち41,526千円は前年度繰越分 9月補正で190,000千円追加 流用による増		「舗装補修工事事業」へ統合						
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		43,756		-4,751						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	道路排水施設工事、法面、路側復旧工事 ・自転車ネットワーク計画に基づく路面表示										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		適切な事業の実施ができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		道路施設の適切な維持管理に努めた。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道路施設の老朽化により維持管理費が増大しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。										
R3年度の目標	道路施設を対象に、補修工事等を適切に実施する。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		道路排水施設工事、法面、路側復旧工事 ・自転車ネットワーク計画に基づく路面表示			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		引き続き道路施設の適切な維持管理に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	自転車走行空間の整備延長(社総金)	km	目標値		0.4	0	0.5	0.5	目標値	23.2	
			実績値	6.4	6.8	6.8			達成年度	-	
			% 達成度	27.6%	29.3%	29.3%					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	松山市自転車ネットワーク計画で予定している路線の整備完了を目標としている。				
	本指標の設定理由	計画に基づいた指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	確実な事業実施により、順調に進捗している。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主査	井手 勝也	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主任	倉岡 仁	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	道路清掃事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)						
事業の目的(どのような状態にするか)	交通量の多い市道等において、特殊車両による路面清掃や、路肩や法面等の草刈を実施し、通行に支障がないように保つ。また、排水ポンプ設備を常に正常かつ良好な状態に保ち、安全で快適な道路環境の整備を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	道路法42条(道路の維持又は修繕)の規定により、特に交通量の多い幹線市道において、特殊車両による路面清掃などを実施し、通行に支障がないよう快適な道路環境の整備を図り、市民ニーズに対応しつつ効果的な管理を進めていく。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃業務 ・路肩等草刈業務 ・市道排水ポンプ場保守点検業務等のために委託料等を支出 						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由	市道等の環境整備を図るため。		
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						15,295		15,785		155,200
決算額(B)(単位:千円)						15,452		14,895		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			15,452		14,895		155,200
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料14,895千円		委託料102,500千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減		「道路清掃事業」に「道路照明灯維持管理事業」「街路樹管理事業」を統合し、「道路環境管理事業」とした。		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				-157	890			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松山市道路路面清掃業務委託 ・市道路肩等草刈業務委託 ・市道排水ポンプ場保守点検業務委託 					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市道の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	効果的な市道の環境整備を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・松山市道路路面清掃業務委託 ・市道路肩等草刈業務委託 ・市道排水ポンプ場保守点検業務委託 		引き続き適切な維持管理に努める。 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	緑町分室総務担当	連絡先	932-0646			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	倉岡 仁	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主任	倉岡 仁	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	直営工事維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
事業の目的(どのような状態にするか)	道路河川管理課緑町分室にて、簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃等を行うとともに、緊急通報(陥没等)に対して迅速に対応することにより、市道の安全確保を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	道路パトロールで発見した異常箇所や、市民等からの通報に対しても迅速に対応し、道路の保全、安全性の確保を図る。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃等を道路河川管理課緑町分室作業員で実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	市道の維持管理を行うため		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		道路橋梁費		道路橋梁維持費		R2予算措置時期		当初	
				目	項	目	項	目	項	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度			
				45,255		59,696		59,696		44,549			
決算額(B)(単位:千円)				43,676		50,472		50,472		44,549			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0		0		0		0		
				県支出金	0		0		0		0		
				市債	0		0		0		0		
				その他	3,468		244		244		200		
				一般財源	40,208		50,228		44,349				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						原材料費23,614千円		原材料費24,329千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,579		9,224					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃、陥没等の緊急対応。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	市道の適切な維持管理に努めた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市道の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道路の老朽化により維持管理費が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					
R3年度の目標	市道の不具合に対して、迅速に対応する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃、陥没等の緊急対応		引き続き市道の適切な維持管理に努める。

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主査	井手 勝也	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主任	倉岡 仁	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	道路照明灯維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	生活道路等の維持管理			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)						
事業の目的(どのような状態にするか)	市道に設置された道路照明灯を維持管理することにより、道路の保全、安全性の確保を図ることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	道路法42条(道路の維持又は修繕)の規定により、市道に設置された道路照明灯を維持管理することにより、道路の安全性の確保を図る。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市道に設置された道路照明灯の補修等を実施するために工事請負費等を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道等の環境整備を図るため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	道路橋梁費		道路橋梁維持費		R2予算措置時期		当初
				土木費	項	目	目	R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				56,000		59,000				0
決算額(B)(単位:千円)				62,176		54,197				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0				0
	県支出金			0		0				0
	市債			0		0				0
	その他			0		0				0
一般財源			62,176		54,197				0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				需用費46,103千円 工事請負費8,094千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-6,176		4,803		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	道路照明灯の補修等					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市道の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	適切な道路照明灯の維持管理を行う		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	道路照明灯の補修等		引き続き適切な維持管理に努める。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主事	佐伯 有加里	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主事	佐伯 有加里	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施業コード)	51111	市道の維持管理一般経費	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
事業の目的(どのような状態にするか)	市道の適切な維持管理に要する一般事務を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	道路法に基づき、市道の適切な維持管理を行う必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市道の適切な維持管理に要する事務的経費					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道の維持管理を行うため		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費	R2予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				20,072		15,248		15,526		
決算額(B)(単位:千円)				18,665		15,956				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		1,624		2,000		
一般財源				18,665		14,332		13,526		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料5,979千円 役務費3,267千円 需用費3,380千円		委託料5,985千円 需用費3,572千円 役務費3,332千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,407		-708		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市道の適切な維持管理に要する事務的経費					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	市道の適切な維持管理に努めた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市道の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	市道の適切な維持管理に努める		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市道の維持管理に要する事務的経費を適切に執行する		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 重松あすか
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 山下 愛可

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	松山マイロードふれあい制度	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	まつやまマイロードサポーター事業実施要綱,まつやまマイロードコミュニティ事業補助金交付要綱,まつやまマイロード照明灯スポンサー事業実施要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	市道の環境美化活動等を通して,身近な存在である市道に愛着を持っていただくことを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	「まつやまマイロードサポーター事業」については,平成23年度にロードサポーター加入要件を緩和し,2名以上で参加できるプチサポーターを追加した。「まつやまマイロードサポーター事業」のほか,「まつやまマイロードコミュニティ事業」と「まつやまマイロード照明灯スポンサー事業」を加え,「松山マイロードふれあい制度」とした。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・まつやまマイロードサポーター事業 ・まつやまマイロードコミュニティ事業 ・まつやまマイロード照明灯スポンサー事業					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 23	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				1,480			1,240			1,345
決算額(B)(単位:千円)				1,317			1,204			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			0			0
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			0			0			90
	一般財源			1,317			1,204			1,255
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						需用費718千円			需用費1,125千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増				
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			163			36			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・まつやまマイロードサポーター事業 ・まつやまマイロードコミュニティ事業 ・まつやまマイロード照明灯スポンサー事業					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な制度の実施に努めた		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民ボランティアの活用を図り,道路の適切な維持管理に貢献することができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	制度の実施を適切に行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・まつやまマイロードサポーター事業 ・まつやまマイロードコミュニティ事業 ・まつやまマイロード照明灯スポンサー事業	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	まつやまマイロードサポーター活動団体数	団体	目標値	65	67	71	78	78	目標値	78	
			実績値	67	71	74			達成年度		
			% 達成度	103	106	104					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		活動団体数が減少しないよう努める。				
	本指標の設定理由	安心で美しい道路環境の維持に取り組む市民の活動状況を示す指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	確実な事業実施により、目標を達成している。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主査	井手 勝也	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主任	倉岡 仁	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	街路樹管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約				
取り組みの柱	生活道路等の維持管理						
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)						
事業の目的(どのような状態にするか)	市道の街路樹の剪定、かん水及び緑地帯の補植、除草を行い、緑地帯の適正な管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	街路樹は、定期的な剪定など適切な維持管理が必要である。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市道区域内にある街路樹の剪定、かん水及び除草等を行うために委託料等を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道等の環境整備を図るため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		道路橋梁費		道路橋梁維持費		R2予算措置時期		当初
				目	項	目	項	R2年度	R3年度			
				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				85,109		87,000		87,000		0		
決算額(B)(単位:千円)				85,280		87,733		87,733		0		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		
	県支出金			0		0		0		0		
	市債			0		0		0		0		
	その他			0		0		0		0		
一般財源				85,280		87,733		87,733		0		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料83,731千円 工事請負費3,994千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増				「道路清掃事業」に「道路照明灯維持管理事業」「街路樹管理事業」を統合し、「道路環境管理事業」とした。		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-171		-733				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	街路樹管理業務委託											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		適切に事業の実施ができた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、街路樹の適切な維持管理に努めた。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し											
R3年度の目標	街路樹の適切な維持管理に努める			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		街路樹管理業務委託			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		引き続き適切な維持管理に努める。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	計画担当	連絡先	948-6834			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	高田 智也	担当者名	主任	渡部 聡	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	計画担当	連絡先	948-6834			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	高田 智也	担当者名	主任	渡部 聡	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	私道整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	松山市私道整備事業実施要綱						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市における私道(道路法の適用を受ける道路以外の道路で、一般通行の用に供されているもの)の整備を促進し、市民の生活環境の向上を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和48年10月に「松山市私道整備事業実施要綱」を制定し、要件を満たす私道の路面の舗装に取り組んでいる。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施するために工事請負費等を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	一般通行の用に供されているため			
始期・終期(年度)	昭和	48	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費	R2予算措置時期		当初	繰越			
									R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)						30,502		23,635				18,239			
決算額(B)(単位:千円)						24,478		15,292							
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳						国支出金		0		0		0			
						県支出金		0		0		0			
						市債		0		0		0			
						その他		0		0		0			
			一般財源		24,478		15,292		18,239						
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				工事請負費15,163千円				工事請負費18,239千円							
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				予算額のうち5,477千円は前年度繰越分				予算額のうち8,239千円は前年度繰越分							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				6,024				8,343			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市私道整備事業実施要綱の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施する。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、私道の舗装整備が図られている。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し											
R3年度の目標	松山市私道整備事業実施要綱に基づき、適切な事業実施を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			松山市私道整備事業実施要綱の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施する。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特に無し

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	交通安全施設(二種)整備				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備						主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理					市長公約				
取り組みの柱	生活道路等の維持管理									
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、42条(道路の維持又は修繕)、45条(道路標識等の設置)									
事業の目的(どのような状態にするか)	交通事故が多発している道路その他通学路などの特に交通安全を確保する必要がある道路について、道路標識、防護柵や区画線など安全対策に必要な道路附属物の整備を行い交通事故の防止と交通の円滑化を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	交通事情の悪化による交通事故の増加に対し、早急な道路安全施設の整備が求められていることから、交通事故の防止と交通の円滑化を図る必要がある。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	交通事故が発生している市道その他通学路などの特に交通安全を確保する必要がある市道について、道路標識などの整備を行い、交通事故の防止と交通の円滑化を図るために工事請負費等を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由					一般交通の用に供される市道の整備であるため。	
始期・終期(年度)	平成	15	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	交通安全施設等整備事業費	R2予算措置時期		
									当初	9月補正	繰越
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				121,911		124,026		37,463			
決算額(B)(単位:千円)				79,355		100,268					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
一般財源				79,355		100,268		37,463			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費100,268千円		工事請負費37,463千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち42,553千円は前年度繰越分 9月補正で67,073千円追加		予算額のうち23,063千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		42,556		23,758			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	区画線、防護柵やカーブミラー等の整備									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により交通事故の防止と交通の円滑化に資することができた。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し									
R3年度の目標	対策工事を適切に実施する。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		交通事故が多発している道路や、特に交通安全を確保する必要がある道路について、交通管理者である警察と連携し区画線、防護柵やカーブミラー等の交通安全施設を整備する。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		特に無し

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	交差点等安全対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-			
取り組みの柱	生活道路等の維持管理			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、42条(道路の維持又は修繕)、45条(道路標識等の設置)						
事業の目的(どのような状態にするか)	自動車交通量が多い通学路の交差点に車止めを設置するとともに、交通需要の多い幹線道路等の区画線補修を行い、交通事故防止を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	交通事情の悪化による交通事故の増加に対し、早急な道路安全施設の整備が求められている。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	交差点安全対策工事や区画線補修工事をするために工事請負費を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	一般交通の用に供される市道の整備であるため。			
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	2	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	交通安全施設等整備事業費	R2予算措置時期		繰越
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						60,000		33,014			0
決算額(B)(単位:千円)						26,985		32,979			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0			0
	県支出金					0		0			0
	市債					0		0			0
	その他					0		0			0
	一般財源					26,985		32,979			0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費32,979千円			なし	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち33,014千円は前年度繰越分			事業完了	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			33,015		35			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	交差点安全対策工事 区画線補修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に事業の実施を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、交通事故の防止と安全で円滑な交通が確保された。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	なし(事業完了)		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路管理課	担当グループ名	工事担当	連絡先	948-6478			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	永井 英司	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	道路橋梁災害復旧事業(単独)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備						主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理					市長公約	-		
取り組みの柱	生活道路等の維持管理						-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第42条(道路の維持または修繕)、松山市業務継続計画(BCP)								
事業の目的(どのような状態にするか)	平成30年7月豪雨及び令和2年7月豪雨により被災した市道について、復旧工事を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成30年7月豪雨及び令和2年7月豪雨により被災した市道の復旧が必要となったため。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	平成30年7月豪雨及び令和2年7月豪雨により被災した市道の復旧工事等を行うために工事請負費等を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	道路管理者が原状回復を義務付けられているため					
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	災害復旧費		土木施設災害復旧費		道路橋梁災害復旧費		R2予算措置時期		
				目	項	目	項	目	項	当初	9月補正	繰越
				R元年度		R2年度		R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				4,760		87,750		16,450				
決算額(B)(単位:千円)				4,759		52,124						
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0				
	県支出金			0		0		0				
	市債			4,750		40,800		16,400				
	その他			0		0		0				
一般財源				9		11,324		50				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料13,152千円 工事請負費38,952千円(9月補正)		委託料 16,450千円(繰越分)				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						委託料をR3へ繰越 9月補正で71,300千円追加 流用による増		事業完了予定 予算額のうち16,450千円は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1		35,626				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	災害復旧工事									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		適切に事業の実施を行った。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		道路の適切な維持管理に貢献することができたため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し									
R3年度の目標	令和3年度に繰越した工事の早期完成			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		災害復旧工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		特に無し

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	野本 朋寛
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	成松 亮弥

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	法河川維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・かけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	河川改修の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	河川法					
事業の目的(どのような状態にするか)	河川の流下断面不足の原因である堆積土砂等を計画的に浚渫し、河川災害の発生を防止するとともに、河川管理道路上の除草を行うことによって、流域住民の生活環境の保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	洪水による災害発生の防止を行うことにより、流域住民の生命と財産を守る。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山市が管理している準用河川(10河川)を対象として、浚渫や除草、管理道路の安全施設設置などを行うために委託料等を支出。 委託先:(公社)松山市シルバー人材センターほか					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費	R2予算措置時期		
									当初		
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				7,062		7,152		6,796			
決算額(B)(単位:千円)				5,904		5,473					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		3,600			
	その他			0		0		0			
	一般財源			5,904		5,473		3,196			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料:5,081千円		工事請負費4,600千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,158		1,679			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	太山寺川の浚渫 太山寺川、光正寺川、傍示川、天王川の草刈りなど					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	河川の適正管理により流域住民の生活環境の保全に努めることができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	河川の流下断面不足の原因である堆積土砂等を計画的に浚渫し、河川災害の発生を防止するとともに、河川管理道路上の除草を行うことによって、流域住民の生活環境の保全を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	三反地川等の浚渫及び草刈り業務		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	岸田 広夢
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	担当者名				

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	浸水予防活動事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約			
取り組みの柱	浸水対策の推進					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	浸水被害が常習的で、特に床上浸水など集中的に甚大な被害を受ける地域の被害を未然に防ぐため事前に水防活動を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成13年6月19日～20日の梅雨前線豪雨により甚大な浸水被害に見舞われたことを踏まえ、集中的に甚大な被害を受ける地域の被害を未然に防ぐため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	浸水被害が常習的で、特に床上浸水など集中的に甚大な被害を受ける地域に対して、浸水被害に備え、土のうを作成し、大雨時に浸水被害が発生する恐れのある箇所へ、土のうの設置及び水防活動を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		河川総務費		R2予算措置時期		当初
				目	項	目	項	目	項	R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度		
決算額(B)(単位:千円)				1,321		1,681		1,681		2,519		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金		0		0		0		0
				県支出金		0		0		0		0
				市債		0		0		0		0
				その他		0		0		0		0
			一般財源		1,321		1,681		1,681		2,519	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							役員費(手数料)1,378千円		役員費(手数料)1,819千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			1,048		815					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	土のう作成や浸水被害が発生する恐れのある箇所へ、土のう設置及び水防活動											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		事前の水防活動を行い、浸水被害を未然に防いでいるため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし											
R3年度の目標	浸水被害が常習的で、特に床上浸水など集中的に甚大な被害を受ける地域の被害を未然に防ぐため、事前に水防活動を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			土のうの作成及び浸水被害発生時の備えのある箇所へ、土のう設置及び水防活動など。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	岸田 広夢	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	黒川 茂	担当者名	技師	成松 亮弥	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	汚泥最終処分手業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	浸水対策の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	下水排水路等の除去した汚泥等を搬出・処分することにより、浸水・悪臭の防止を図り、市民の生活環境の保全及び向上に寄与する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水排水路の浸淫等で発生する汚泥を処分し、浸水・悪臭を防ぐため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内の下水排水路について、町内会・土地改良区等及び直営作業で、下水排水路等を浸淫・洗浄した汚泥及びびすクリーン等にかかるゴミ等を排出し最終処分を行うために委託料等を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目		R2予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				66,503		70,853		74,284			
決算額(B)(単位:千円)				74,898		53,202		74,284			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
一般財源			74,898		53,202		74,284				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料:48,137千円		委託料64,790千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-8,395		17,651			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水排水路等を浸淫・洗浄した汚泥及びびすクリーン等にかかるゴミ等を搬出し最終処分。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水排水路等から除去した汚泥等を排出・処分し、浸水・悪臭の防止を図ることで、市民の生活環境の保全及び向上に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水排水路等の除去した汚泥等を搬出・処分することにより、浸水・悪臭の防止を図り、市民の生活環境の保全及び向上に寄与する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	下水排水路等を浸淫・洗浄した汚泥及びびすクリーン等にかかるゴミ等を搬出し最終処分。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	主任	山下 博史	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	黒川 茂	担当者名	主任	山下 博史	技師 岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	スクリーン等管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	浸水対策の推進			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	浸水及び事故の防止を図り、生活環境の保全向上に資する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	浸水被害を防ぐためにスクリーン等の維持管理を行う必要があるため(昭和54年以前)						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内の下水排水路に設置しているスクリーンについて、ゴミ等の除去及び樋門の操作を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	54	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目		下水排水路費		R2予算措置時期		当初
				項	目	目	目	R2年度	R3年度					
				R元年度		R2年度		R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				2,566		2,607		2,470						
決算額(B)(単位:千円)				2,527		2,427		2,470						
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金		0		0		0							
	県支出金		0		0		0							
	市債		0		0		0							
	その他		0		0		0							
一般財源		2,527		2,427		2,470								
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		報償費:2,353千円		報償費:2,353千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-		-						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		39		180						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内の下水排水路に設置しているスクリーン等にかかるゴミ等の除去及び樋門の操作。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	スクリーン等の適正管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	浸水及び事故の防止を図り、生活環境の保全向上に資する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市内の下水排水路に設置しているスクリーン等にかかるゴミ等の除去及び樋門の操作。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	緑町分室総務担当	連絡先	932-0646		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	倉岡 仁	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師 成松 亮弥

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	河川水路維持補修事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	浸水対策の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水排水路を適正に管理し、浸水・悪臭等を防止する必要があったため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内一円の下水排水路について、洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目		R2予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				32,250		32,534		16,640			
決算額(B)(単位:千円)				25,709		25,152		16,640			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
一般財源				25,709		25,152		16,640			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		備品購入費:13,044千円 需用費:5,976千円 原材料費4,038千円		原材料費:5,986千円 需用費5,862千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		流用による増		-			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		6,541		7,382			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市内一円の下水排水路等の機能を保持することにより、浸水・悪臭等の軽減が図れた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上に資する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	技師	成松 亮弥	技師	岸田 広夢
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	担当者名	主任	山下 博史	主査	富永 洋希

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	ポンプ場運転管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-			
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約					
取り組みの柱	浸水対策の推進									
総合戦略	基本目標	-								
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	ポンプ場等の運転管理により、下水排水路の機能を確保し、浸水防止を図り生活環境の保全向上に資する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和44年の中須賀ポンプ場設置に伴う。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	雨水排水ポンプ場について、施設の運転・点検・管理を行うために委託料等を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	昭和	44	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目		下水排水路費	R2予算措置時期	当初	繰越
				項	目	目	目						
				R元年度		R2年度		R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				179,900		184,448		86,833					
決算額(B)(単位:千円)				127,325		160,997		86,833					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0					
	県支出金			0		0		0					
	市債			0		0		0					
	その他			0		0		0					
一般財源				127,325		160,997		86,833					
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				需用費(光熱水費)47,260千円 委託料:59,979千円 工事請負費:43,146千円		需用費(光熱水費)30,296千円 委託料:25,014千円 工事請負費27,400千円							
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				予算額のうち、33,550千円は前年度繰越分 流用による減									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		52,575		23,451					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水排水路の排水に必要な排水ポンプ場等の運転・点検・管理。												
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		ポンプ場の適正な維持管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。								
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし												
R3年度の目標	ポンプ場の運転管理により、下水排水路の機能を確保し、浸水防止を図り生活環境の保全向上に資する。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			下水排水路の排水に必要な排水ポンプ場等の運転・点検・管理を行う。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	主任	山下 博史	技師	岸田 広夢
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	黒川 茂	担当者名	主任	山下 博史	主査	富永 洋希

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	河川水門管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	浸水対策の推進			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	河川水門の管理により、浸水等を防止し生活環境の保全向上に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	浸水等の防止のため、水門や樋門を維持管理する必要があるため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市が管理する水門・樋門について、河川の流水の制御に必要な河川水門の維持管理を行うために委託料等を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目		R2予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					13,448		15,338				10,670
決算額(B)(単位:千円)					12,721		14,577				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0				0
	県支出金				1,028		1,047				1,195
	市債				0		0				0
	その他				0		0				0
	一般財源				11,693		13,530				9,475
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料11,950千円 需用費(光熱水費)2,008千円		委託料8,443千円 需用費(光熱水費)1,890千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		727		761			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内36箇所の水門・樋門の運転管理や保守点検を行う。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		水門・樋門の適正な維持管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	水門・樋門の維持管理を行い、浸水被害等を未然に防ぐ。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			市内36箇所の水門・樋門の運転管理や保守点検。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	野本 朋寛
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道サービス課	担当グループ名	下水排水路維持管理担当	連絡先	948-6538			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	光宗 弘明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	成松 亮弥

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	下水道台帳整備事業(下水排水路)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-			
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約					
取り組みの柱	浸水対策の推進									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	情報の共有化を図るため、(下水道認可区域外に布設されている)下水排水路の実態(管路の位置、埋設深さ、管種、マンホールの形状、排水経路)を把握する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道認可区域外の下水排水路の実態や工事履歴等が把握されていないため、地下埋設物の協議や道路計画等に支障があった。そのため、下水排水路の状況を台帳化することにより、情報の共有化を図る。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公共下水道処理区域外の下水排水路の測量調査及び都市情報システムへのデータ入力に委託料を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	昭和	58	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費	R2予算措置時期	当初
									R元年度	R2年度
現計予算額(A)(単位:千円)						9,244		6,423		12,859
決算額(B)(単位:千円)						8,056		6,272		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0		0
	県支出金					0		0		0
	市債					0		0		0
	その他					0		0		0
	一般財源					8,056		6,272		12,859
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							委託料6,223千円		委託料7,935千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				1,188		151		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内一円30ha排水路台帳整備										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により下水道事業の円滑な運営に寄与しているため						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	市内一円30ha排水路台帳整備										
R3年度の目標	引き続き、下水道台帳(下水排水路)の整備に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			排水路台帳作成及び台帳入力			特になし	
							特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策				

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	成松 亮弥	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	山内 潤一	担当者名	副主幹	河野 雅憲	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	下水排水路等整備事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約				
取り組みの柱	浸水対策の推進								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道未整備の在来水路は、宅地化に伴い生活雑排水等が排水され、環境衛生上放置できない現状となっており、田畑等の改廃に伴う遊水地の激減や断面不足等による排水不良により、降雨時に浸水をきたし、市民生活に大きな影響を与えているため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受け、緊急度の高い箇所から順次整備を行うために工事請負費等を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由	不特定多数の方が利用する公共物のため				
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目	下水排水路費	R2予算措置時期	当初	9月補正		
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度							
現計予算額(A)(単位:千円)					815,588				783,021			493,550		
決算額(B)(単位:千円)					415,301				548,804					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金					0			0		
				県支出金					0		0		0	
				市債						0		0		2,000
				その他				1,269			0		0	
			一般財源		414,032				548,804			491,550		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算									工事請負費508,760千円 委託料36,815千円 補償補填及び賠償金2,594千円			工事請負費446,096千円(現年予算)、196,096千円(繰越分) 委託料27,113千円(現年予算)、19,713千円(繰越)		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									予算額のうち360,621千円は前年度繰越分 9月補正で188,400千円追加。			予算額のうち228,818千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			400,287				234,217					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		適切な事業の実施ができた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に寄与しているため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し											
R3年度の目標	引き続き水路整備により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		
	特に無し											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	岸田 広夢	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・かけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	山内 潤一	担当者名	副主幹	河野 雅憲	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	29999	河川等災害復旧事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	431	元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	その他				西日本豪雨からの一刻も早い復旧をはじめ、担い手の確保や地域・大学と連携した有害鳥獣対策など、松山の農業を守ります。また、ブランド産品の販路拡大、6次産業化の促進など、儲かる農林水産業を推進します。	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
取組	-		取組み	-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	平成30年7月豪雨災害」及び「令和2年7月豪雨災害」で被災した水路の復旧工事を実施して適切な通水機能を確認し、浸水被害の拡大防止を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	「平成30年7月豪雨災害」及び「令和2年7月豪雨災害」で被災した水路の復旧工事を実施する。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受け、緊急度の高い箇所から順次整備を行うために工事請負費等を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	不特定多数の方が利用する公共物のため		
始期・終期(年度)	~ 令和 3		終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	災害復旧費		土木施設災害復旧費		河川災害復旧費		R2 予算措置時期	
				目	項	目	項	目	項	当初	9月補正
				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				173,584				244,204		108,292	
決算額(B)(単位:千円)				61,938				71,887			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			1,520				0		0	
	県支出金			0				0		0	
	市債			44,500				71,500		89,000	
	その他			0				0		0	
一般財源			15,918				387		19,292		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料9,233千円 工事請負費62,654千円				委託料28,697千円(繰越分) 工事請負費79,595千円(繰越分)	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						現計予算額のうち103,854千円は前年度繰越分 9月補正で110,350千円追加				現計予算額は前年度繰越分。事業完了予定。	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		111,646		172,317			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	熊田水路復旧工事外63箇所(繰越16箇所・補正47箇所)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	概ね予定通り実施できた。			
事業の公共性	必要性	1 2 3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	水路復旧することにより生活環境の向上や浸水被害の軽減に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	菅沢町ほかの水路復旧工事の早期完成に取り組む。 仮置きされている災害土砂の適正処分に取り組む。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	水路整備箇所	箇所	目標値	304	337	403	403	—	目標値	403	
			実績値	252	303	366			達成年度	R3	
		%	達成度	82.9	89.9	90.8					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	計画している箇所数すべての整備を目指すため。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため									
	災害土砂撤去	率	目標値	—	—	100	100	—	目標値	100	
			実績値	—	—	0			達成年度	R3	
		%	達成度	—	—	0					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	上怒和に仮置きしている災害土砂の撤去・処分の終了を目指すため。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		%	達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	水路改修箇所については約90%の整備が完了しており、R3年度での整備完了に向け計画に基づき、予定通りに整備が進んでいる。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											